

# 空き家をテコにしてまちの再生を!

◇期日:平成26年11月26日(水)13:00~16:00

◇会場:越谷市中央市民会館 1階劇場  
(越谷市越ヶ谷4丁目1番1号 電話 048-966-6622)

◇主催:越谷市民生委員・児童委員協議会、NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター

◇協力:越谷市住まい・まちづくり協議会

参加無料  
先着300名

空き家問題やまちづくりに関心のある  
一般市民の方にも公開します。

【開催趣旨】 超高齢化・人口減少社会を背景に、これまでの住宅施策や法整備など社会構造の問題から全国で空き家の発生が顕著となり、早急に解決すべき地域課題の一つとなっています。

老朽化して地域の景観や安全性を損なうような形で放置された空き家は解体が必要ですが、住宅としての機能を十分に持ちながらも所有者の事情等により有効利用されずにいるものも多く、これを地域の資源として捉え、新たな活用方法を見出す必要があります。当市においても多くの空き家は潜在化しており、正確に現状を把握するためには地域住民の主体的な関わりが大切であり、この空き家問題を解決していくことは地域における居住福祉に資するものです。

今回の講演会は、民生委員・児童委員協議会による全体研修の一環として、地域の実情を把握している民生委員・児童委員をはじめ、多くの市民の方々に空き家の利用方法などについて、理解と関心を深めていただくことで、これからの「共助社会づくり」、「地域の居住福祉のまちづくり」に生かしていくことを目的としています。



講師:園田 真理子(そのだ まりこ) 明治大学理工学部建築学科 教授

石川県生まれ。1979年千葉大学工学部建築学科卒業。1993年千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了。博士(工学)・一級建築士。

(株)市浦都市開発建築コンサルタンツ、(財)日本建築センター建築技術研究所を経て、1997年より明治大学に勤務。

専門は建築計画、住環境計画、住宅政策論。特に高齢社会に対応した住宅・住環境計画について、多数の研究、政策提言などを行っている。川崎市住宅政策審議会会長、東京都住宅政策審議会副会長。主な著書に、「世界の高齢者住宅-日本・アメリカ・ヨーロッパ」、「高齢時代を住まう-2025年の住まいへの提言」(共著)他。

## タイムスケジュール

12:00	開場	
13:00	開会・セレモニー	
13:25	第1部 特別講演会 演題:「空き家をテコにしてまちの再生を!」 講師:明治大学理工学部教授 園田真理子 氏	本年度、国は地域の居住福祉施策として「地域善隣事業」を発表しました。これは、地域での居住を継続することが困難な低所得・低資産高齢者に対して、空き家等の地域資源を活用しての「居住の確保」と相談援助等の「生活支援」を一体的に行う新しい事業スキームです。第1部では、地域善隣事業の基本研究となった「低所得・低資産高齢者の住まいと生活支援のあり方に関する調査研究」の検討委員会委員でもあり、住宅政策の専門家である明治大学理工学部教授の園田真理子先生をお迎えして、越谷市における地域善隣事業のあり方を探ります。
14:50	休憩	
15:00	第2部 越谷市における空き家問題と居住福祉 報告:埼玉県共助社会づくり支援事業の活動報告 越谷市住まい・まちづくり協議会(若色・桐山)	越谷市住まい・まちづくり協議会では、空き家、空き室、空き地を地域資源と捉え、これらを活用した居住福祉のまちづくりを推進しています。第2部では同会が埼玉県共助社会づくり支援事業の助成を受けて、平成24年から実施してきた空き家問題に関する取り組みを報告します。
15:30	質疑応答	●越谷市における空き家問題(実地調査を踏まえて) ●空き家相談会の実施状況 ●今後の展望 など
15:40	閉会	

当日会場にて  
空き家に関する  
相談・情報を  
受付けます。

<http://www.koshi-machi.com/>

お問い合わせは [koshigaya.sumamachi@gmail.com](mailto:koshigaya.sumamachi@gmail.com) TEL.048-965-5358

NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター 〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町2-185-12